第62回　明科　いいまちサロン　平成30年10月30日（火）10時～12時　明科公民館講堂

歴史講演会　古代の安曇野の玄関口は？　講師：　安曇野市郷土博物館　館長　原　明芳さん

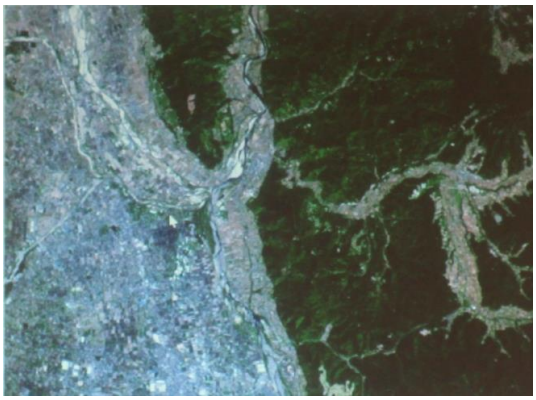
お茶をいただきながら団欒する参加者

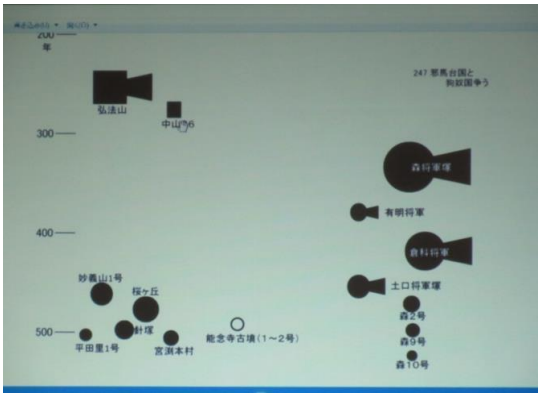
本日のお茶うけは新米のおにぎりと野菜の朝漬け

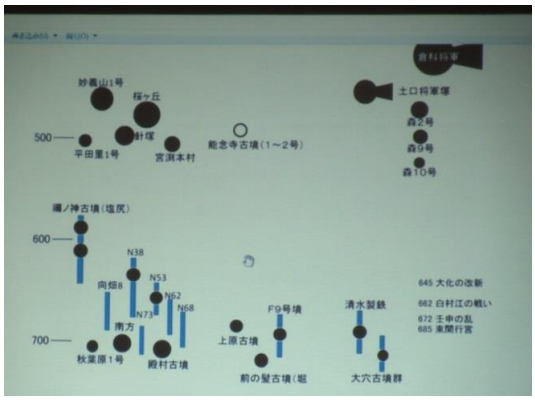
団欒する参加者

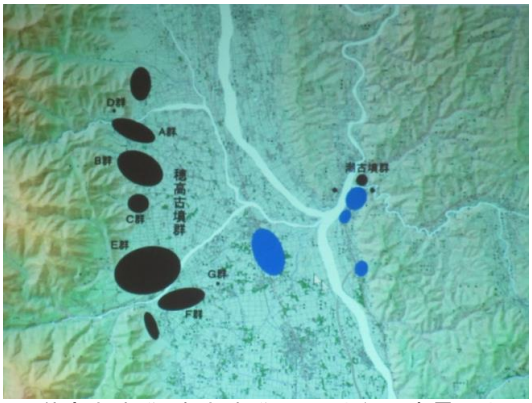
川崎事務局より講師紹介

原　明芳講師から挨拶・講演

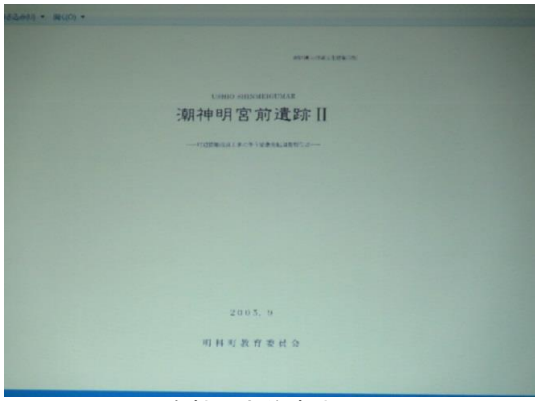




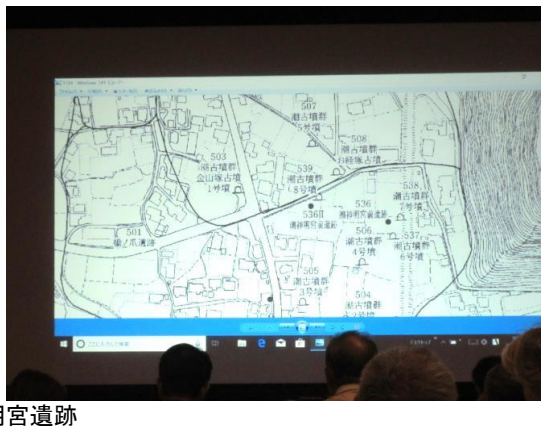




穂高古墳群　潮古墳群　7～8世紀の安曇野市

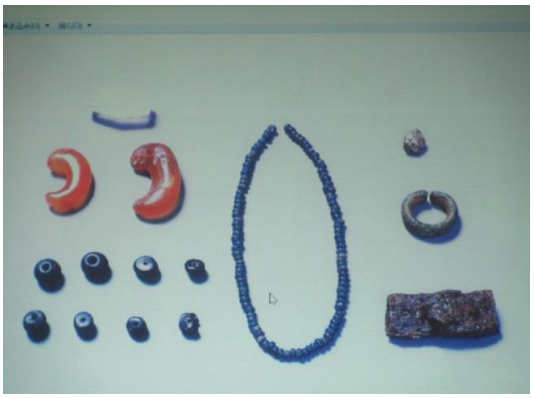


潮神明宮前遺跡　Ⅱ

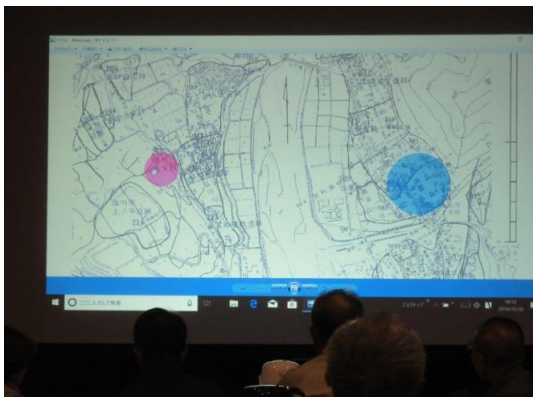


潮神明宮遺跡

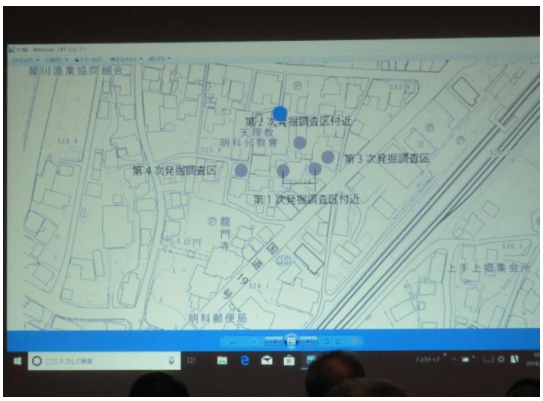
発掘状況



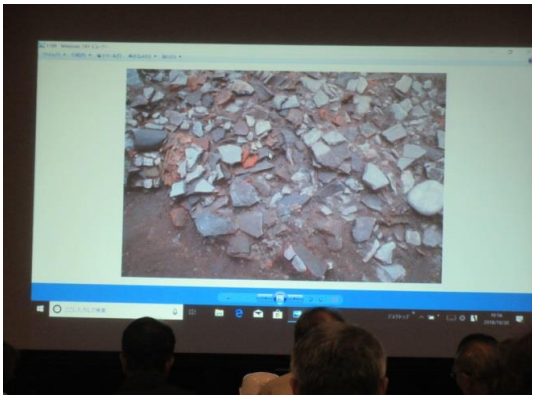
出土品



桜坂古窯址



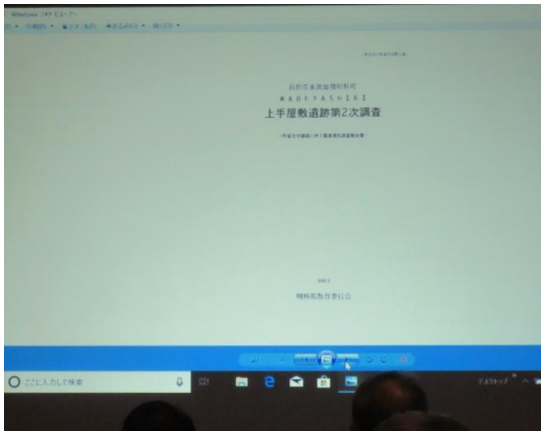
発掘調査地点



出土品

明科廃寺跡　桜坂窯跡

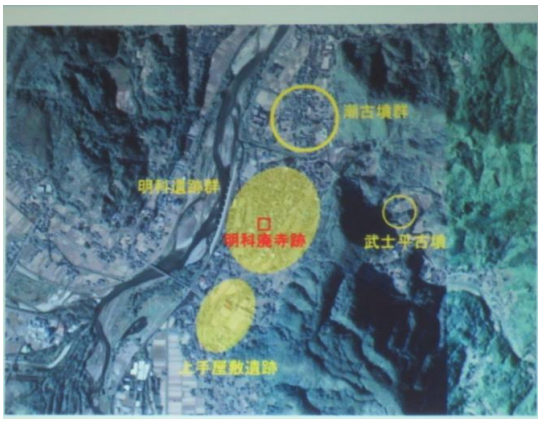
栄町遺跡　出土品



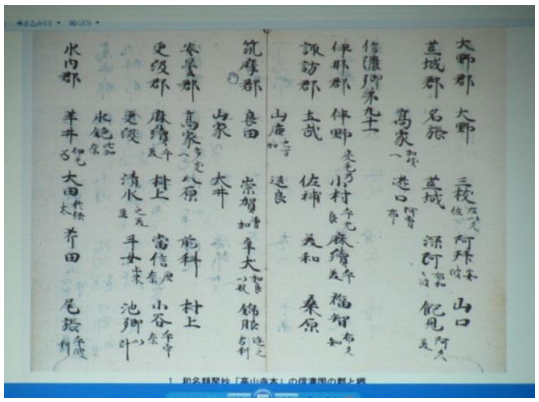
上手屋敷遺跡調査

土杭群

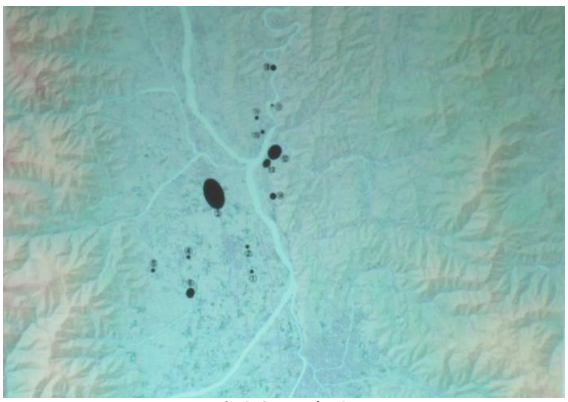
律令体制下の信濃の国



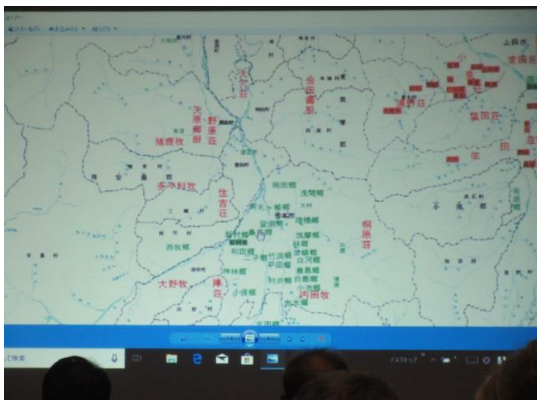
7～8世紀の明科



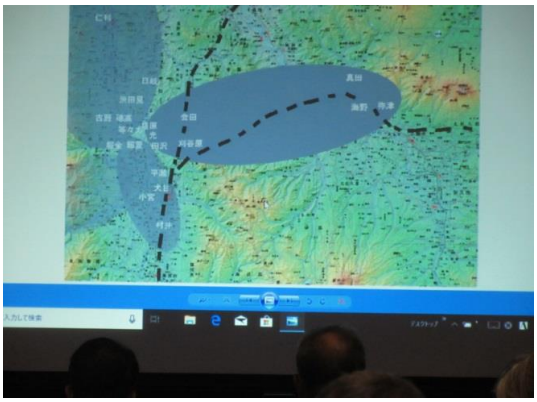
郡と郷

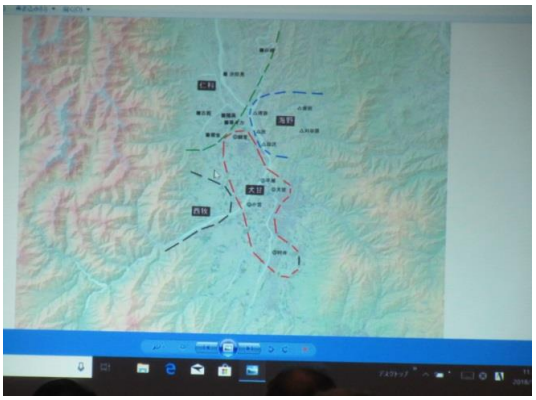


調査された遺跡

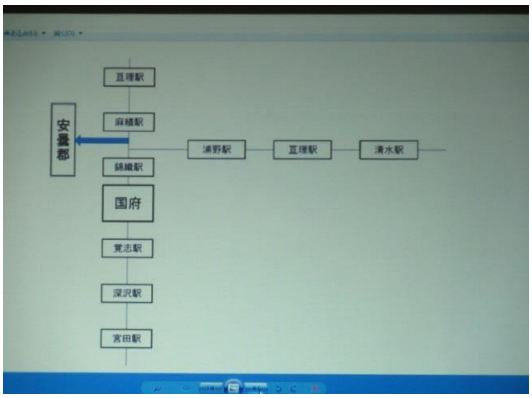


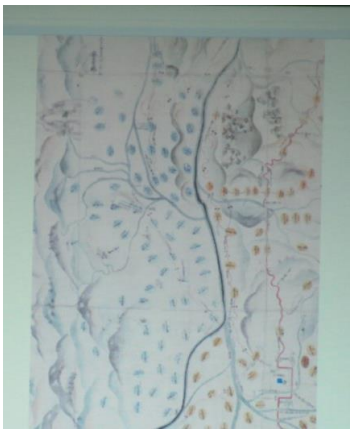
中世の郷と荘園



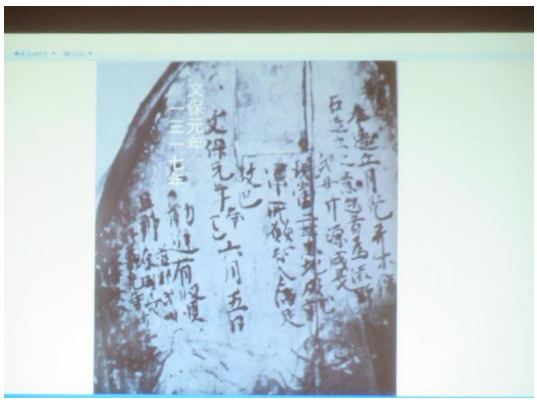


中世武士の勢力範囲





江戸時代初期の安曇郡・筑摩郡



質問　沖国正さん

宮下さんの指揮で我が町を合唱

第62回のいいまちサロンは、安曇野市豊科郷土博物館館長の原　明芳さんを迎え、古代の安曇野の玄関口は？と題して講演をいただきました。明科地域、安曇野市内各地域、松本市からの参加をいただき65名の皆さんが古代から中世にかけて、安曇野への人や文化、物の流れは、明科に信濃最古の寺院が何故建立されたのか、遺跡の発掘を通じての歴史の流れを講演頂き、明科は安曇野の玄関口であったと認識を新たにしました。

明科には歴史的な物が数多くあるとの説明があり、機会を捉えて歴史の道を散策して見たいと感じました。参加者からの質問にも懇切丁寧に回答して頂き、有意義な時間を過ごすことができました。